

令和8年度

別冊

絵で見る江別市予算案

～えべつ未来戦略 編～



えべつ未来づくりビジョン

「えべつ未来づくりビジョン」は、「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」の2本柱で構成しています。

「えべつまちづくり未来構想」は、「まちづくりの基本理念」や10年後の「将来都市像」などから成る「めざすまちの姿」をはじめ、これらを実現するための必要な手立てである「まちづくり政策」で構成しています。

「えべつ未来戦略」では、江別市の特色や優れた点を生かして、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながるテーマを設定し、その実現に必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選び、重点的・集中的に取り組んでいく内容を示します。

えべつ未来戦略

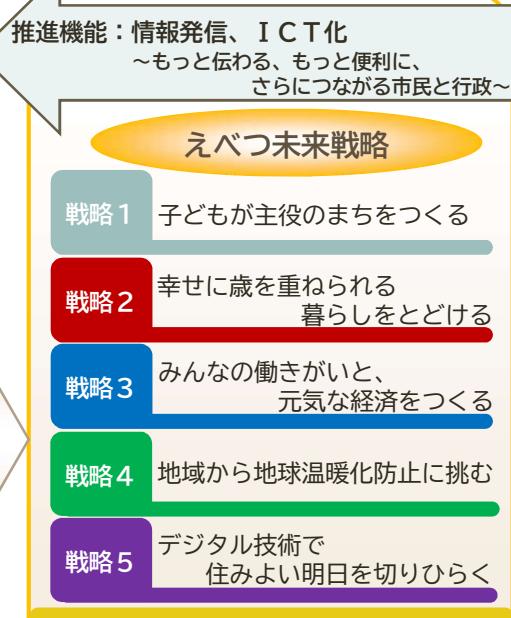
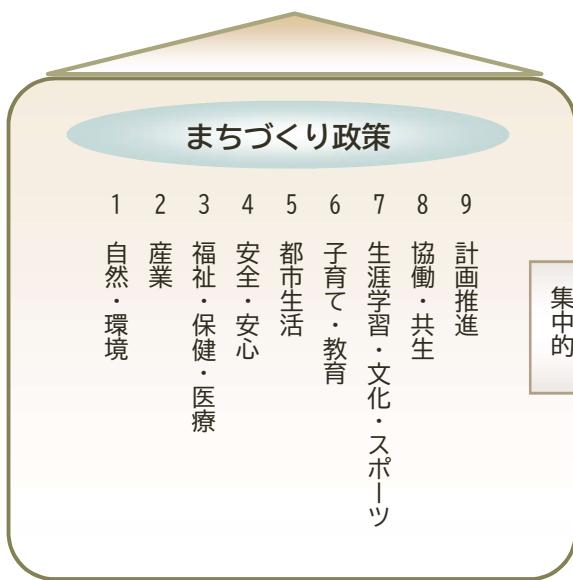
「えべつ未来戦略」は、五つの「戦略」で構成します。

また、各戦略を実現するための基本となる考え方を「基盤」、各戦略を推し進めていくための共通の考え方や手段を「推進機能」とします。

また、各戦略を実現するための手立てを「未来構想」で定める「まちづくり政策」の「具体的施策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいきます。

まちづくり政策と未来戦略

えべつまちづくり未来構想
将来都市像『幸せが未来へつづくまち えべつ』



戦略1 子どもが主役のまちをつくる

701, 740千円

- 安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を進めます。
- 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るなど、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めます。
- ニーズが高まっている放課後児童クラブを充実させ、子どもの生活の場を提供するなど、保護者が働きながら安心して子育てできる環境を整えます。
- 全ての子どもに分け隔てなく学びの機会が提供されるよう、子どもに寄り添った教育環境の一層の充実に取り組みます。

(1)

地域子育て支援の充実

93, 054千円

地域子育て支援拠点事業

93, 054 千円

子育てひろば「ぽこあぽこ」をはじめとした子育て支援センター（地域子育て支援拠点）の運営などを通じて、子育て支援の充実を図ります。



ぽろっこ



ぽこあぽこ

(2)

就学前児童への支援

32, 784千円



子育て支援員研修

保育人材等確保対策事業

32, 784 千円

保育の質の維持・向上に向け、保育従事者の養成や教育・保育施設等に対する保育士等の人材確保のための助成を行います。



- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業
- ◆ **新規** 就労奨励金事業
- ◆ **新規** 学生アルバイト雇用支援事業
- ◆ **新規** 保育公開実施

(3)

学齢児童への支援

475, 918千円

放課後児童クラブ

運営費補助金 354, 958 千円

民間放課後児童クラブに対し、運営に係る費用の一部を助成し、放課後児童健全育成の充実を図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 臨時休校時開設の運営費補助



放課後児童クラブ

戦略1 子どもが主役のまちをつくる

(3)

学齢児童への支援

放課後児童クラブ運営事業 24,398千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、安心安全な放課後の「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



児童センター

子どもの居場所づくり

支援事業 5,774千円

子ども食堂等子どもの居場所の安定的な運営を通じて、地域全体で子どもたちを見守る環境の充実を図ります。

- ◆ **拡大** 子ども食堂等を運営する団体への補助金額を増額
- ◆ **拡大** 子どもの居場所づくりの推進に取り組むコーディネーターの配置



児童館地域交流推進事業

90,788千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。

また、併設された1か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（1クラブ）の運営

(4)

教育内容の充実

55,639千円

小中一貫教育推進事業

2,508千円

全小中学校で目指す子ども像を実現するため、義務教育9年間での系統性と連続性のある指導を推進していきます。

- ◆ 小中のつながりを意識した授業
- ◆ 小中で基本的な指導方法の共通化
- ◆ 中学校教諭による小学校での授業
- ◆ 小学生の中学校体験登校、部活動体験



中学校体験登校



ティームティーチング

小中学校学習サポート事業

11,325千円

退職教員などの人材資源を活用し、複数の教員が指導するティームティーチングや、補充的学習を実施することで、子どもたちの学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習
- ◆ 放課後の補充的学習
- ◆ 学習サポート教員、地域ボランティアの派遣



戦略1 子どもが主役のまちをつくる

(4)

教育内容の充実

小中学校外国語教育

支援事業 41,806 千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手（ALT）が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校と中学校の英語の授業時に、ALTを派遣し、ティームティーチングを行います。

- ◆ ALTの配置（10名）



ALTによる授業

(5)

教育相談・支援の充実

44,345千円



いじめ防止対策事業

3,416 千円

心のダイレクトメールやWeb-QUなどの取組を通じて、いじめの早期発見・早期対応を図ります。

- ◆ 学校におけるいじめ調査の体制整備
- ◆ 心のダイレクトメールの実施
- ◆ いじめ根絶をテーマにした中学生サミットの開催

スクールソーシャル

ワーカー事業 13,487 千円

いじめ・不登校・家庭環境などの問題や悩みを抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を生かして支援を行います。

- ◆ 悩みを抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・福祉・その他関係機関との連携調整



教育支援センター「ねくすと」

不登校児童生徒支援事業

27,442 千円

児童生徒の不登校の未然防止を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒の教育の機会及び居場所の確保を図ります。

- ◆ 教育支援センター「ねくすと」の運営
- ◆ 専任指導員などによる教育相談
- ◆ **拡大** 中学校への登校サポートー派遣を週5回に拡大



戦略2 幸せに歳を重ねられる 暮らしをとどける

191,572千円

- 市民一人ひとりの健康意識を高め、健康診査・がん検診等の受診率の向上や、食生活・運動習慣の改善などを通じて、健康寿命の延伸に取り組みます。
- 一人ひとりの生涯やライフステージに応じた健康づくりを推進します。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりをより一層推進します。

(1)

健康増進活動の推進

9,132千円

健康都市推進事業

1,961千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ えべつ健康フェスタの実施
- ◆ 野菜摂取レベル測定器を活用した啓発の実施
- ◆ 健康都市連合日本支部への加入



健康フェスタ



野菜摂取レベル測定器



健康づくり推進員による活動

健康づくり推進事業

7,171千円

えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 食生活改善推進事業
- ◆ 生活習慣病予防教室(中学生)
- ◆ 自殺予防のための普及啓発・人材育成
- ◆ 地域での健康教育・健康相談

(2)

疾病予防・重症化予防の促進

174,918千円

成人検診推進事業

91,004千円

がん等の早期発見、早期治療のため、がん検診等の受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行います。

- ◆ 集団検診事務の一括委託
(受付業務、受診勧奨、Web予約運用)
- ◆ がん検診等の実施



集団検診バス

戦略2 幸せに歳を重ねられる 暮らしをとどける

(2) 疾病予防・重症化予防の促進



特定健診

【国民健康保険特別会計】

特定健康診査等事業

76,848千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨ハガキの送付
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨

【介護保険特別会計】

一般介護予防事業

7,066千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ フレイル（虚弱状態）予防対策の普及啓発
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援



介護予防教室

(3)

多様性を認め合う社会意識の醸成

7,522千円



ココルクえべつ

生涯活躍のまち推進事業

7,522千円

江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりを進めます。

- ◆ 地域交流事業の実施
- ◆ 障がい者の就労環境の充実（福祉事業所説明会開催）
- ◆ 生涯活躍のまち
コーディネーターの配置



地域交流事業

戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる

70, 984千円

- 未利用地を活用した企業誘致などに取り組み、雇用の創出を促すことにより、地域経済の活性化を図ります。
- 市民が、働きたいと思う仕事や環境を見つけることができるよう、企業とのマッチングを行い、就業ニーズへの対応と人手不足の解消を図ります。
- 市内には魅力的な企業が多数あることから、その情報を発信し、企業の認知度を高めます。

(1)

企業立地の促進

54, 477千円

未利用地活用推進事業

5, 157千円

インフラ未整備である旧陶芸の里用地や東西IC周辺地域に設定した重点促進区域等への企業誘致を促進するため、情報提供の強化や補助金などによる立地支援を行います。

- ◆ **新規** 合併処理浄化槽設置整備事業補助金



江別東 IC周辺

企業誘致推進事業

1, 467千円

産業基盤の確立や、雇用創出を促進するため、旧陶芸の里等の未利用地や東西IC周辺地域に設定した重点促進区域への企業誘致を進めます。

- ◆ 企業訪問の実施
- ◆ パンフレット、ビジネスイベント出展等による情報発信・PR



出展ブースでのPR

企業立地等補助金

47, 853千円

市内で工場等を新設・増設、または本社機能を移転した企業やサテライトオフィスを設置する企業に対して、補助金を交付します。

- ◆ 新規立地、増設等に対する補助
(立地補助金・雇用補助金・下水道使用料補助金・設備更新補助金・本社機能移転補助金)
- ◆ サテライトオフィス設置推進補助金

(2)

就業環境の充実

16, 507千円

企業と人材のマッチング

支援事業 16, 507千円

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加促進と企業の雇用確保に向けた各種取組を推進します。

- ◆ まちなか仕事プラザの運営
- ◆ 企業説明会・交流会等の開催
- ◆ 求職者や事業者向けセミナー等の開催
- ◆ 高校生と企業の体験型交流会の実施



高校生と企業の体験型交流会

戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む

16,636千円

- 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進します。
- 地域資源を有効活用し、エネルギーの地産地消を促進します。
- 関係団体と協力しながら、年代などに応じた環境教育を行うことで、市民一人ひとりが環境にやさしい取組の大切さに気づき、実践できるようにします。

(1) 脱炭素社会の実現

12,620千円

脱炭素推進事業

12,620千円

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会実現に向けた取組を行います。

- ◆ 太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
- ◆ 啓発セミナー等の開催
- ◆ **新規** 市内事業者の温室効果ガス排出量分析、省エネ診断の促進



小学生向けSDGs・ソーラー発電教室

(2) 再生可能エネルギーの導入拡大と利用推進

【再掲】12,620千円

【再掲】

脱炭素推進事業

12,620千円

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会実現に向けた取組を行います。

- ◆ 太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
- ◆ 啓発セミナー等の開催
- ◆ **新規** 市内事業者の温室効果ガス排出量分析、省エネ診断の促進



市民向け脱炭素セミナー

(3) 環境教育・学習の推進

4,016千円

環境教育等推進事業

3,935千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発を行います。

- ◆ えべつ環境・SDGs広場の開催
- ◆ ごみ減量体験講座（買い物ゲーム）や市民環境講座の開催など



ごみ減量体験講座（買い物ゲーム）

環境マネジメントシステム事業

81千円

環境マネジメントシステム（EMS）に基づき、省資源・省エネの推進に向けた取組を行います。

- ◆ 環境経営普及セミナーの開催
- ◆ 省エネルギー診断の実施



環境経営普及セミナー

戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

316,902千円

- スマートフォンなどを用いて、自身の健康の保持・増進を図る取組を推進します。
- 江別市の魅力である「食」と「農」を守り、育てるため、負担軽減などにつながるA I等の先端技術の導入を推進します。
- デジタル技術は、様々な分野での活用が想定されることから、時代の変化に応じて、積極的に取り入れ、豊かな暮らしをつくります。
- 市民がデジタル化の便利さを実感できるように支援します。

(1)

デジタル技術の活用

264,428千円

生涯健康プラット

フォーム推進事業

10,000千円

デジタル技術を活用し、市民が生涯にわたって自らの健康を管理していくことができるサービスを提供することで、健康意識の維持・向上を図ります。

◆ 生涯健康プラットフォームの運用



生涯健康プラットフォーム



スマホなんでも相談窓口

新規 デジタル活用促進事業

880千円

「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、情報格差解消を推進します。また、持続的なデジタル化の方策を研究し、利便性と効率性を両立する仕組みを検討します。

- ◆ スマホなんでも相談窓口の開設
- ◆ デジタル化推進に係る検討



新規

えべつデジタルマップ事業

(道路台帳) 196,210千円

最新のデジタル測量技術で紙図面をデジタル化し、公開型G I Sを活用することで、市民サービス向上や道路地図データの多様な利用拡大を目指します。

◆ 道路台帳図や地籍図のデジタル化



戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

(1)

デジタル技術の活用

新規 除排雪管理システム導入事業

57,338千円

ICTを導入し、除排雪業務における事務作業の省力化を図ります。また、大雪時の迅速な除排雪計画構築や除雪路線の公表等により市民サービス向上を目指します。

- ◆ 除雪作業量等を自動計算するシステムの導入
- ◆ 除排雪状況の動態管理



(2)

農業経営の安定化

52,474千円



トラクター

スマート農業機械

導入促進事業

4,000千円

スマート農業の地域実装を促進するため、スマート農業機械を導入する市内農業者に対し補助金を交付します。

- ◆ スマート農業機械導入費用に対する補助
- ◆ **拡大** 補助対象スマート農業機械に施設園芸環境制御システム及びドローンを追加



地域農業経営安定推進事業

30,043千円

農業経営の安定に向け、生産拡大に取り組む農業者に対し、機械取得や施設整備などについて、国の制度を活用した支援を行います。

- ◆ 農業用機械や施設に対する補助



農業用ドローン



新規 スマート農業推進事業

18,431千円

市の農業形態に最適なスマート農業を推進する取組を実践するため、情報通信基盤整備等のハード整備および産学官連携強化等のソフト事業を行います。

- ◆ スマート農業情報通信基盤の整備・運用
- ◆ スマート農業の普及啓発の強化